

令和4年度パソコン寺子屋活動実績報告

作成 R05.04.20 塾長 森 繁満

1.目的

- パソコン寺子屋は菊川市1%地域づくり活動の団体の中の一事業であり、活動はボランティアで行う。
- 受講対象者は、趣味や日常生活にパソコンを取り入れて活用したい中高年者とし、本講座でパソコン操作や知識を楽しく習得して、快適な生活に役立てるための支援となること、また本講座を通して人の輪が広がることを目的とする。
- 家の中に引きこもりがちの方が外に出て楽しむことができる地域での交流の場が必要です。

2.特徴

- 寺子屋は、他の教室とはひと味違うユニークな授業手法を取り入れており、常に教室は活気があり、明るさと和気あいの雰囲気勉強を行っている。それを実現するために下記のような対策及び改善を実施している。
 - 画面と操作の共通化を図り、授業を理解しやすくする
 - PCが快適に動作するように、ハードウェアの高速化
 - 教室の環境整備
 - 受講生に適した指導方法
- ここでは、コミュニティ協議会の本来の趣旨である地域づくりの交流の場となり、認知症予防にもなります。

3.授業形態

開催場所：青葉台コミュニティセンター					
受講名称	対象者	開催頻度	受講期間	受講時間	備考
①通常授業	新規受講生	毎週(水)	6ヶ月	19:00～20:30	
②特別授業	新規受講生 継続受講生	毎週(木)	無期限	9:00～12:00	通常授業の補完
③サークル勉強会	特別授業卒業生	毎週(火)	無期限	9:00～12:00	パソコンのフル活用

4.目標と実績

4-1 講座内容

項目	内容	クラス	計画	実績	評価
① PCの初歩の基本	電源のON・OFFとマウスの使い方	通常授業	1.5H×1回	1.5H×1回	○
② 文字入力 (Google日本語入力)	文字列入力の基礎	特別授業	3.0H×1回	3.0H×1回	○
		通常授業	1.5H×1回	1.5H×1回	○
③ 日本語変換 (Google日本語入力)	日本語変換の基礎	通常授業	1.5H×1回	1.5H×1回	○
		特別授業	3.0H×1回	3.0H×1回	○
④ 文書作成 (Word)	文書作成と整形、表・罫線・図形・画像の入力	通常授業	1.5H×3回	1.5H×4回	○
		特別授業	3.0H×3回	3.0H×4回	○
⑤ 表計算 (Excel)	表計算とは？からセルの参照まで	通常授業	1.5H×3回	1.5H×3回	○
		特別授業	3.0H×3回	3.0H×3回	○
⑦ インターネット	インターネットの仕組みと活用の仕方	通常授業	3.0H×2回	3.0H×3回	○
		特別授業	3.0H×2回	3.0H×3回	○
⑧ フォルダとファイル	フォルダ・ファイルの作成・変更、ファイルの関連付け	通常授業	1.5H×1回	1.5H×2回	○
		特別授業	3.0H×1回	3.0H×2回	○
⑨ 年賀状作成 (筆まめ)	住所録とデザインの作成	通常授業	1.5H×3回	1.5H×4回	○
		特別授業	3.0H×3回	3.0H×4回	○
⑩ メールの登録と使い方 (Yahoo!メール)	画像整形、デザイン面の整形	通常授業	1.5H×2回	1.5H×3回	○
		特別授業	3.0H×2回	3.0H×3回	○
⑪ 各種アカウントについて	Web(G-mail)メール・Eメールの作成と使い方	通常授業	1.5H×2回	1.5H×3回	○
		特別授業	3.0H×1回	3.0H×1回	○
⑫ デジカメ写真の保存、整形、印刷	SDカード・USBメモリを使って実習	通常授業	3.0H×1回	3.0H×2回	○
		特別授業	3.0H×1回	3.0H×2回	○
⑬ 判子作成 (クリックスタンプ)	判子作成と活用の仕方	通常授業	3.0H×1回	3.0H×2回	○
		特別授業	3.0H×1回	3.0H×2回	○
⑭ ソフトのインストール	ソフトのインストール・アンインストールの実習	サークル	3.0H×1回	3.0H×1回	○

4-2 入校者数・開催回数・参加者数

(1) 入校者数

	前年度実績	計画	実績	比較	達成率	評価
上期	22	10	13	+3	130.0%	○
下期	0	10	12	+2	120.0%	○
合計	22	20	25	+5	125.0%	○

今年も、菊川市連合自治会及び地域支援課のご協力により、自治会班回覧を実施した。上期は募集10名に対して13名の申込者があり、下期は募集10名に対して12名の申込者があった。

(2) 開催回数

	前年度実績	計画	実績	比較	達成率	評価
通常授業	34	48	48	±0	100.0%	○
特別授業	34	48	50	+2	104.2%	○
サークル勉強会	35	48	48	±0	100.0%	○
合計	103	144	146	+2	101.4%	○

上期は、コロナウイルスによりコミセンの利用人数制限を遵守するため、各クラスA・Bの2つのグループに分けて授業を開催しました。しかし下期は人数制限が解除されたため従来通り戻して(グループを廃止)授業を行った。又、2回/月を毎週開催に変更し講義の充実度を上げた。

(3) 参加者数

	前年度実績	計画	実績	比較	達成率	評価
通常授業	328	480	676	+196	140.8%	◎
特別授業	457	480	527	+47	109.8%	○
サークル勉強会	375	480	781	+301	162.7%	◎
合計	1,160	1,440	1,984	+544	137.8%	◎

上記のようにグループを廃止と毎週開催に変更した結果として、参加者数の増加となった。

4-3 全般

実施事項	クラス名	新・継	計画	実績
①画面と操作の共通化とノートPCのチューニング 新規受講生でWindows7・8がInstallされているPCはWindows10にクリーンインストール、Windows11ならWindows10にダウングレード、Windows10なら最新バージョンにアップデート。更にチューニング(不要なソフトの削除、ウイルス対策ソフト及び教育に必要なソフトのInstall)	通常授業	継続	新規受講者全員	25台
②HDDをSSDに換装 新規受講生は全員、PC内の記憶装置がHDDの場合は、SSDに交換し、クローン又はクリーンインストール	通常授業	継続	新規受講者全員	15台 ※1
③Office2019へバージョンアップ 新規受講生で古いバージョンのOfficeがInstallされているPCは、安価版のOffice2019にバージョンアップ	通常授業	継続	新規受講者全員	25台
④受講者PCのメンテナンス 受講者PCにハードまたはソフトウェアの要因で不具合が発生した時は、寺子屋でそのPCを復旧(メンテナンス)	全クラス	継続	発生時	33台
⑤受講者が理解しやすい指導方法の改善 受講者が理解できないところをスタッフが丁寧に指導	通常授業	継続	開催時	47回
⑥寺子屋の運用費はすべて自主財源 参加費(300円/回)及び、チューニング代(2,000円/回)等を運営費として活用	全クラス	継続	運用費全金額	運用費全金額
⑦プロジェクトの切替え機能活用 受講生がわからないところがある時など、プロジェクトの画面を各受講生のPCの画面に切り替えて説明できる。	全クラス	継続	開催時	146回
⑧教材データをNAS(ネットワーク対応SSD)化 ネットワーク経由で利用できるデータの記憶領域を有効活用(RAID0:複数のSSDを1つのドライブのように認識)	全クラス	新規	開催時	146回
⑨アンケートの実施 新規受講生への説明会では「パソコンで何をしたいですか」のアンケートを、終了式では「達成度・満足度」のアンケートを実施	通常授業	継続	2回	1回
⑩スタッフ会議を開催 講座終了後にスタッフ会議を開催(時間：15分程度)	通常授業	継続	開催時	47回
⑪スタッフ研修会を開催 研修会で、指導方法の協議と各スタッフのスキルアップ		継続	24回	21回
⑫コロナ感染防止対策 コロナ感染防止対策を菊川市の指導書に基づき、最善の対策を実施	全クラス	新規	開催時	146回

※1 新規入校者中、10名はSSD内蔵のノートPC新規購入のため換装不要

5. 成果と効果

効 果	達成率	評価
①画面と操作の共通化とPCのチューニング 教室ではプロジェクトを使用している授業を行っているが、各受講生のOSの違いにより、画面と操作が大きく異なるため授業そのものが成り立たない、OS内を画面と操作を同一化することにより初めて実現できた。 また、ソフトウェアのチューニングを行った事により、PCが快適に且つ安全に動作するようになった。	100%	○
②HDDをSSDに換装 ◎ Windows10の立ち上げに、従来約30～60秒程かかっていたが、SSDに換装後2・3秒で立ち上がる様になった。 ◎ アプリケーションの立ち上げに於いても、従来の3分の1程度の時間で立ち上がる様になった。 ◎ 特にインターネットに於いては、ネット切り替え時の速度が劇的に速くなった。	100%	○
③Office2019へバージョンアップ 安価版のOffice2019(正規品)にInstallしたことにより、同一画面と操作で受講できるようになった。	100%	○
④受講者PCのメンテナンス 日々発生する、受講者のPCの不具合を健全なPCに復旧させることにより、修得を妨げる要因を解消できた。	100%	○
⑤指導方法改善 マンツーマンに近い指導が可能になり、個人の理解力の差を解消することができた。	80%	○
⑥寺子屋の運用費はすべて自主財源 本年度も寺子屋の運用費は自主財源(参加費)で行ない順調に運用してきた。 しかし、コロナの発生により受講生の人数制限により、会費の収入が2分の1以下となつてしまったので財政が著しく苦しくなつた。しかし、6月以降は人数制限が解除されたため、従来通り運用が可能となった。	70%	△
⑦プロジェクトの切替え機能活用 Wi-Fiタイプのプロジェクトを使用した授業を令和3年度より継続して来たが、受講生の理解度の向上に大きく効果があらためてわかった為、頻りに活用している。	120%	◎
⑧教材データをNAS(ネットワーク対応SSD)化 NASを導入しローカルネットワーク(セグメント)経由で利用できるデータの記憶領域を活用したことにより寺子屋教材及びユーティリティソフト等のファイルの管理が可能となりました。	100%	○
⑨アンケートの実施 「パソコンで何をしたいですか」のアンケートでは、新規受講生の入学する目的が把握できた。また、「達成度・満足度」のアンケートでは各自の目標に対する各個人の達成度と、授業の満足度のデータを得ることができた。	100%	○
⑩スタッフ会議を開催 スタッフの情報交換により、新規受講生への授業の指導方法と改善ができた。	100%	○
⑪スタッフ研修会を開催 定期的に実践的な研修会を行っているために、スタッフに実力が付き、質問者への解答を明確にできるようになってきており、スタッフの実力がついた姿が随所に見えてきた。	120%	◎
⑫コロナ感染防止対策 人数制限解除後もコロナ感染防止対策は継続している。	100%	○

6. まとめ

- できるだけ多くの方が参加してパソコン操作や知識を楽しく習得してそれを継続させるためには、快適な環境を構築して楽しく受講できる魅力ある教室にしなければなりません。開校以来、毎年少しずつ改善を継続して来たことにより、非常に良い環境で受講できる体制ができてきました。
又、寺子屋で使う共有データをFTPソフト (Idiskマネージャー) を使用しているが容量が100MBの制限により、必要なデータ全てを保存できなかったためオーバーするデータは、やむを得ずUSBを利用してデータのやり取りをしてきました。
本年度は、この対策としてNAS(Network Attached Storage)(QNAP製)を導入しました。
- 受講者は、楽しく学び習得したパソコン操作や知識を日常生活や趣味に活用し、快適な生活の一助となっていると思われる。また、パソコン寺子屋の教室は和やかであり、受講者同士のメール交換もできる人の輪も広がっていると思われる。
- 昨年度は、コロナの影響でコミセン利用者数制限により参加費の減少し、自主財源での運用が危ぶまれましたが本年度に入り利用者制限も解除されたためなんとか従来の財政に復旧することができました。

7. 今後の展望や予定

- 指導者の高齢化について
塾長やスタッフの高齢化となつてきましたので今後の寺子屋の運用方法を見極めたい

8. にアピールしたいこと。

- アピール
寺子屋の授業では、お互いに学び合うというスタイルをとっているため、自然とお互いのコミュニケーションができます。大変明るく楽しく受講している姿を是非見学してください。
- 受講者からの声
 - ◎ 毎回授業を受けるのが楽しくしょうがない ---- 60歳代女性
 - ◎ 塾長とスタッフが親切に丁寧に教えてくれるため大変ありがたい ---- 60歳代男性
 - ◎ 何回も同じことを説明してくれるため嬉しい ---- 60歳代男性
 - ◎ 会費、1回300円、安すぎる ---- 70歳代女性

